



中之島だより

令和5年6月号

和歌山市立中之島小学校



元気なあいさつ・しっかりそうじ

【校長 太田 謙二】

先日、例年より早く、近畿地方の梅雨入りが発表されました。令和5年度が始まってから約2か月が過ぎ、早くも1学期の折り返し地点になりました。今日からいよいよ6月です。

さて、これまでの間、子供たちの学校生活の様子でうれしいことをお伝えさせていただきます。まず1つ目は「あいさつ」です。中之島の子供たちは、素直で優しい子供たちですが、自分からあいさつをすることが少ないように感じていました。元気なあいさつができるとうれしい気持ちになりますし、いい関係になれます。このことは、始業式で子供たちに話しましたが、ずいぶんと、自分からあいさつをする子が増えてきた気がします。児童会の子供たちが、朝から正門であいさつ運動をしてくれている効果も大きいように思います。

2つ目は、「そうじ」です。5月からたてわり掃除が始まり、6年生のリーダーさんが、張り切って下の学年の子に声かけしながらそうじを進めてくれています。とても責任感を感じますし、下の学年の子供たちも、自分が上になった時に、「責任をもってやらないと」という意識で、そうじをしているように思います。教職員も一緒になってそうじし、声かけしながら子供たちのやる気を高めようとがんばっています。

また、この時期、1年生は、あさがお、2年生は、ミニトマトとピーマンなど、各学年ごとに様々な植物や作物を育てています。毎日、世話をしながら成長している様子を楽しみにしている子供たちの姿が、とてもほほえましいです。どこまで成長したのか、どんな花が咲いたのか、どんなにりっぱな実がなったのかなど、私も話を聞かせてもらうのが、すごく楽しみです。



この6月は、授業参観・懇談会、水泳の学習など、様々な行事や活動がたくさんあります。季節的に、雨が多い時期ですが、子供たちが爽やかな気持ちで、落ち着いて学校生活を送って欲しいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、子供たちが、楽しく落ち着いて学校生活を送ることができるよう引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。